

大分県空手道連盟 大会申し合わせ事項

令和8年5月1日

各大会のシードについて

- ・スポーツ少年団大会(全少予選):前年度のジュニア交流大会の結果
- ・中学スポーツ少年団大会:前年度の全中選抜予選の結果(1年生は前年のジュニア交流大会の結果)
- ・九州少年少女予選:スポーツ少年団大会の結果
- ・全中選抜予選:中学スポーツ少年団大会の結果
- ・ジュニア交流大会:九州少年少女予選結果、および九州少年少女大会での入賞者(優先)
- ※原則団体形・組手と個人形はベスト4、個人組手はベスト8をシードする。(参加人数による)

大会全般について

- サポーター(硬い部分がなく、マジックテープ可)は華美でないものとし、テーピングとの二重使用は不可
- 胸マーク・ゼッケンは出場団体名とする(〇〇大や流派は×)
- 監督は前年度(2月)の審判講習会(実技)へ必ず参加すること
- 監督(席に着く者)の服装は、ダークスーツとし、室内シューズ、審判員と異なるネクタイを付けること
- ※監督が女性の場合はスラックスでもスカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい

大分県空手道選手権大会

形競技

- 予選は指定形、決勝は得意形
- 参加者が4名以下の場合は決勝(得意形)のみ
- 同点の場合は再演武
- 決勝演武順は抽選により決定する

組手競技

- 参加者が8名未満の場合は3位決定戦を行う
- 少年1分30秒フル・6P差、決勝は規定通り、成年2分フル・6P差、決勝は規定通り
- 団体組手(3人制)は2分フル・6P差、2名同士の対戦のみオーダーは前詰めとする

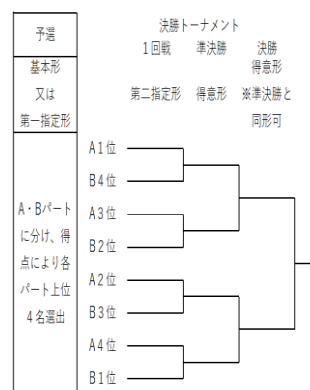
中学スポーツ少年団大会・全中選抜予選

形競技

- 予選は基本形または第一指定形
- 同点の場合は再演武
- 団体形は1チームずつ演武
- 決勝トーナメントの一回戦は第二指定形、以降得意形
- 全国選考会は1人ずつ演武し、得意形

組手競技

- 1分30秒流し(残り15秒フル)・6P差、準決勝以降は1分30秒フル・6P差
- 団体戦は双方初戦のみ全試合行う
- 2名同士の対戦のみオーダーは前詰めとする



スポーツ少年団大会・九少予選・ジュニア交流大会

形競技

- 予選は基本形、決勝は演武していない基本形または指定形
- 2年生以下は同形可
- 同点の場合は再演武(3年以上は本戦と別の形)
- 予選グループ数・通過数は参加数によって以下のように決定する

参加数	グループ	通過数	決勝数
8名まで	1	4	4
16名まで	1	6	6
24名まで	2	4	8
32名まで	2	6	12
48名まで	4	4	16
49名以上	4	5	20

全試合2人(チーム)同時演武とする

前回大会等の結果でシードの振り分けは行いが、演武順は予選・決勝ともフリー抽選とする

団体形は、予選は基本形、決勝は演武していない基本形または指定形とする

組手競技

- 1分フル・6P先取
- 拳サポーターはリバーシブル
- 準決勝以降は1分フル・6P差
- 団体戦は双方初戦のみ全試合行う
- 2名同士の対戦のみオーダーは前詰めとする